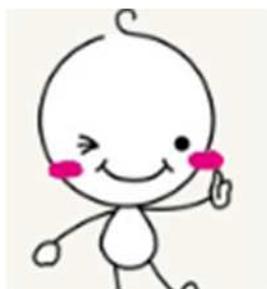


## 第1回 化学物質管理強調月間 化学物質管理の特別セミナーを開催

### Chemical Substance Management Emphasis Month

できていますか？ L (エルから) ~R (アール)  
(ラベルでアクション to リスクアセスメント)

神奈川県労働局では、令和7年1月31日(金)に、本年度より創設された化学物質管理強調月間に向けた特別セミナーを開催いたしました。この化学物質管理強調月間では職場における危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識の高揚を広く一般に図るとともに、その定着を図ることを目的としており、神奈川県労働局においては、神奈川県環境農政局をはじめとした関係機関と連携し、神奈川県内に所在する事業者や化学物質管理担当者等を対象として、期間中に行っていただきたい化学物質管理を進める上でのチェックポイントなどについて説明を行いました。



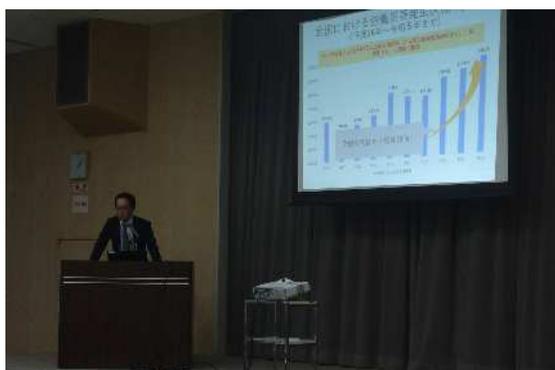
会場(定員70名、事前申込で満席となりました。)

主催者あいさつ 神奈川県労働局 労働基準部 健康課

冒頭、主催者である神奈川県労働局 労働基準部 畑野健康課長より、今年新たに創設された化学物質管理強調月間の経緯について説明がされました。昨年4月より改正労働安全衛生法が施行されていることも併せて職場における新たな化学物質規制が、これまで以上に事業者の主体的な取り組みが求められることとなったことなどの重要性などの説明がなされ、本日のセミナーの内容を参加者の皆さんが事業場に持ち帰り、その内容を現場で活用することにより化学物質の安全衛生管理に役立ててもらいたい旨挨拶がされました

## 講演 1 神奈川県労働局 健康課 「最近の化学物質管理の傾向について」

神奈川県労働局 健康課 労働衛生専門官より、配布資料に沿って、表題のテーマに沿った説明が行われました。化学物質管理強調月間の実施要綱～労働災害発生状況～化学物質に関する職業性疾患の事例の説明がされ、昨年4月から施行されて新たな化学物質規制の2本柱である「情報伝達の強化」と「リスクの制御」の重要性とそれらを周知するために神奈川県労働局が化学物質管理強調月間を展開するうえでのキャッチコピー「L→R（エルからアール）」にて自主点検を進めてもらいたい「ラベルでアクション」と「リスクアセスメント」に関する説明が行われました。



神奈川県労働局 健康課 労働衛生専門官より説明



## 講演 2 神奈川県環境農政局 環境部 環境課 「神奈川県における生活環境の保全等を目的とした化学物質対策について」

神奈川県環境農政局環境部環境課の担当官より、配布資料に沿って、表題のテーマに沿った講話が行われました。主に特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）、神奈川県生活環境の保全等に関する条例による化学物質対策などについて説明されました。また、神奈川県の条例における化学物質対策の、令和6年から7年にかけての改正概要についても、その見直しに関するスケジュールや内容について概要の説明が行われました。



神奈川県環境農政局環境部環境課 担当官より説明



神奈川県 環境農政局 環境部環境課ホームページ

URL: <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/index.html>

講演3 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理部  
化学物質管理と保護具の選定について

「化学物質の自律的管理における保護具を、状況に応じて合理的に考える。」

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所より中原浩彦氏を講師としてお招きし、標題の内容について講話をいただきました。中原氏からは、冒頭、法令準拠型管理から、状況に応じてリスクベースで考え抜く

「リスクに応じた自律的な管理」について説明があり、危険性・有害性の確認、リスクの見積もり方法、リスク対策の検討など、自律的管理の原理原則について説明がされました。

続いて、保護具の種類と、暴露シナリオに基づく合理的な選択方法について、詳細な解説がされました。

特に化学防護手袋については浸透、劣化、透過に関する事項について、また呼吸用保護具については、その有効性を確実にするための3条件について詳細な解説がされ、作業現場において役立つ内容でした。また、保護具の不具合や不適切な使用などの引き金事象によって起き得る災害についての説明があり、状況に応じてリスクシナリオをしっかりと洗い出し、リスクアセスメントを行い、保護具による対策を合理的に考えることの重要性を強く認識させる内容でした。



労働安全衛生総合研究所  
化学物質情報管理研究センター  
中原浩彦様の講話

職場の化学物質管理総合サイト / ケミサポ

ホームページURL : <https://cheminfo.johas.go.jp/>

講演4 神奈川県産業保健総合支援センター

「神奈川県産業保健総合支援センターが推進する化学物質対策無料支援について」

独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川県産業保健総合支援センター 労働衛生専門職 原田祐二氏から神奈川県産業保健総合支援センターで受けられる無料支援の内容について、説明がされました。

神奈川県産業保健総合支援センター

ホームページURL : <https://www.kanagawas.johas.go.jp>

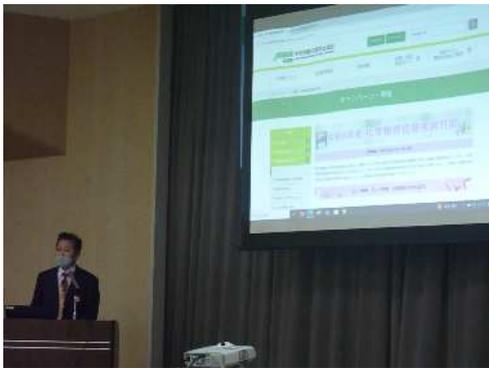
産業保健無料支援事業URL : <https://www.kanagawas.johas.go.jp/pages/797/>



独立行政法人労働者健康安全機構  
神奈川産業保健総合支援センター  
労働衛生専門職 原田 祐二様の講話

講演 5 中央労働災害防止協会からのお知らせ（化学物質管理に関する事業について）  
特別民間法人 中央労働災害防止協会 出版事業部 企画開発課

中央労働災害防止協会 出版事業部 企画開発課長 田尻裕之氏より、化学物質管理強調月間における主唱者として協会が行う取り組み事項や月間で使用できるテキストや用品に関する説明とご案内がなされました。



中央労働災害防止協会 出版事業部  
企画開発課課長 田尻様の講話

中央労働災害防止協会

ホームページURL : <https://www.jisha.or.jp/campaign/kagaku/index.html>

中央労働災害防止協会 発行「安全衛生のひろば」2月号特集  
中原講師が寄稿している特集記事が無料で試読できます。

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo1NDQ1OTF9&detailFlg=0&pNo=1>

講演 6 化学物質管理に関する教育教習研修会等について  
公益社団法人神奈川労務安全衛生協会

最後に、神奈川労務安全衛生協会の専務理事 古屋強氏より、協会において開催している化学物質管理に関する教育、研修等について説明とご案内がなされました。

神奈川労務安全衛生協会ホームページURL  
<http://www.roaneikyo.or.jp/>



神奈川労務安全衛生協会  
専務理事 古屋様の講話

神奈川労働局では、化学物質管理に関する必要な情報について、事業者等の皆様に周知、展開を図ることにより、化学物質に関する労働災害防止対策を推進していきます。

今後とも労働局・労働基準監督署が行う安全衛生に関する各種施策について、ご理解とご協力をお願いいたします。

神奈川労働局ホームページ

URL : <https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/home.html>

厚生労働省では経済産業省、環境省と連携し「化学物質管理協調月間」の取り組みを推進しています。

厚生労働省

ホームページURL : <https://www.mhlw.go.jp/index.html>

経済産業省

ホームページURL : <https://www.meti.go.jp/>

環境省

ホームページURL : <https://www.env.go.jp/>

○本件問い合わせ先

神奈川労働局 労働基準部 健康課 (電話 045-211-7353)

( R0702 )